

成蹊会誌42

1975年晩秋号

木
々
々
々
々

か
き
き
き
き

き
き
き
き
き

き
き
き
き
き

き
き
き
き
き

か
き
き
き
き

き
き
き
き
き

き
き
き
き
き

き
き
き
き
き

き
き
き
き
き

き
き
き
き
き

成蹊学園だより

一 近況報告

◇ 名誉理事称号授与

第九十七回理事会に於て次の方々が成蹊学園名誉理事の称号を授与されました。

野田 信夫 (成蹊大学名誉教授・元学長)
栗原 美能留 (前成蹊中学・高等学校校長)

◇ 昭和五十年年度教職員表彰式

学園に永年勤続された教職員の表彰式が十月十八日(土)十二時三十分から新設の小学校食堂に於て行なわれ、左記の七名が表彰をうけられました。

福与 正治 学長(部長以上の職に十二年在職)
杉山 稷 国際特別学級主事(教頭以上の職に十五年在職)
栗原 雄一 中学・高等学校教諭(三十年勤続)
寺尾豊太郎 中学・高等学校教諭(二十年勤続)
保谷 正信 工学部技術員(二十年勤続)
木村 定司 小学校教諭(二十年勤続)
小野 明 中学・高等学校教諭(二十年勤続)

◇ 四大学運動競技大会(成蹊・学習院・成城・武蔵)

今年度は本大学が当番校となり、十月二十五日から二十七日の三日間にわたり本大学を主会場にして第二十六回四大学運動競技大会が開催された。

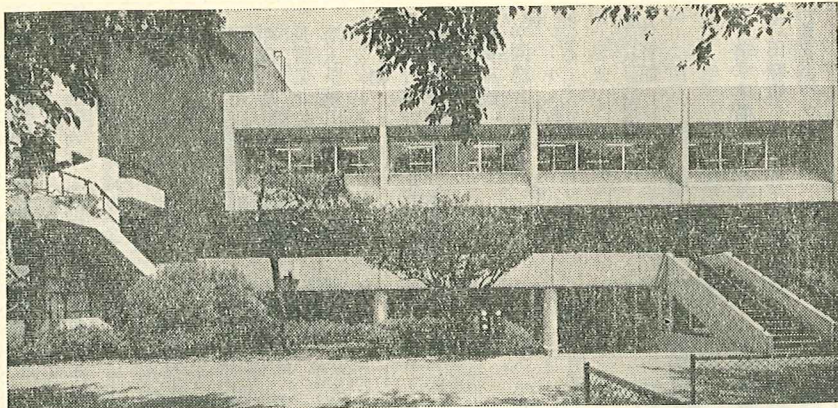
◇ 都高校陸上女子短距離優勝

東京都高校陸上競技大会が五月十一日、十八日の両日、国立競技場で行なわれ本校の嘩道佳代子(二年)さんが女子百米、二百米で優勝し関東大会に出場することになりました。

二 学生、生徒、児童数及び専任教職員数

昭和三十六年(創立五十周年の前年)と現在とを比較すると次の通りとなります。

種 別	三十六年度	五十年 度
大 学 (含大学院)	一、四一四名	六、四〇七名
高 校	八一三	一、〇八〇
中 学 校	七八三	八〇六
小 学 校	七八五	七五〇
計	三、七九五	九、〇四三
専任教員	二二二	三四六
専任職員	一一〇	二一九
計	三四二	五六五

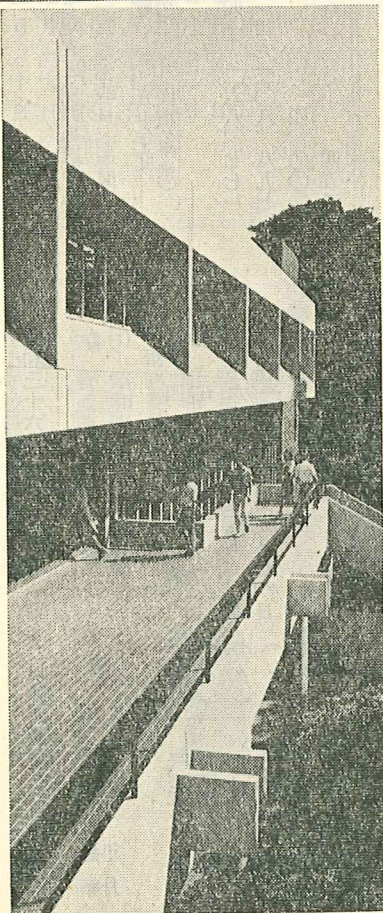


←完成した学生会館全景

大学学生食堂内部



成蹊大学学生会館
(昭和50年5月竣工)



三 建物施設の拡充整備状況

(1) 昭和三十六年（創立五十周年の前年）と現在との諸施設の拡充整備状況は次の通りです。

所 在・名 称	三十六年度 面積(平米)	五十年年度 面積(平米)
土 地		
武蔵野市吉祥寺北町	二六六、四四一	二六八、七七一
神奈川県足柄下郡箱根町	二〇九、一一四	二〇八、八九七
長野県北佐久郡軽井沢町		四、〇〇〇
埼玉県戸田市戸田公園		四五二
建 物		
武蔵野市吉祥寺北町、他 (箱根、波左間、志賀高 原寮等含む)	三一、一七五 (二〇二棟)	八六、三〇五 (二八八棟)
体育施設		
学園総合運動場 プール(敷地)	八〇、〇七六 (学園南プール) 一、四六八 (学園北プール)	八三、一七六 (学園南プール) 四、三〇七 (学園北プール)
体育館	一、五五〇 (大学体育館) 一、五五〇 (小学校体育館)	三、三四九 (大学体育館) 三、三四九 (小学校体育館)
大学卓球場	二四八	三三三
戸田艇庫	三三八	三七八
ヨットハウス	三三三	三三三

(2) 昭和三十六年（創立五十周年の前年）以降新設された建物施設

名 称	構 造	面 積 (平米)	建 築 年 月
大学			
大学四号館	四階建(鉄筋)	三六五	三六三
大学五号館	二階建(鉄筋)	一、三三	三六三
大学六号館	二階建(鉄筋)	二、〇四	三六三
大学十一号館	二階建(鉄筋)	五、〇七	三六三
大学十二号館	二階建(鉄筋)	六、六九	三六三
大学十三号館	二階建(鉄筋)	三、六六	三六三
低温実験室	二階建(鉄筋・ブロック)	二六	三六三
ガンマ線照射実験室	二階建(鉄筋・ブロック)	二六	三六三
電磁遮蔽実験室	二階建(鉄筋)	六、七五	三六三
図書	五階建(鉄筋)	二〇	三六三
中学・高校			
中 高 本 館	二階建(鉄筋)	二、三六	三七三
理 科 館・造 形 館	二階建(鉄筋)	二、九〇	三七三
家 庭 科 館	二階建(鉄筋)	四、四〇	三七三
中 高 体 育 館	二階建(鉄筋)	一、七三	三七三
小学校			
小学校新館	三階建(鉄筋)	二、七六	四六三
小学校三号館	二階建(鉄筋)	一、六六	四六三
給 食 堂	三階建地下一階(鉄筋)	一、七六	四六三

付属建物

学 生 会 館	三階建地下一階(鉄筋)	三、六四	三七三
志 賀 高 原 寮	二階建(鉄筋)	一、五五	三七三
波 左 間 寮	二階建地下一階(鉄筋)	一、五五	三七三
戸 田 艇 庫	二階建(鉄骨)	一、五五	三七三
屋外体育施設			
四百米トラック			三七三
高校フレイグランド			三七三
野 球 場			三七三
テニスコート			三七三
バレーコート			三七三
小学校プール	二十五米・四コース		三七三
学園北プール	二十五米・八コース		三七三

物 故 会 員 (昭和五十年六月一日)

西 原 慶一(特別会員)	昭和五十年十月十九日
高 島 良一(旧高3)	昭和五十年六月十五日
井 口 史郎(専2)	昭和五十年七月五日
原 田 昭一(旧高3)	昭和五十年七月十二日
安 藤 由久(旧高18)	昭和五十年七月二十日
赤 井 嘉嗣(工2)	昭和五十年七月二十九日(追加)
妻 木 正徳(中1)	昭和五十年四月四日
原 正子(女23)	昭和五十年五月二十日
鈴木清子(女2)	昭和五十年五月三十日

成蹊会近況

自 昭和五十年六月一日
至 昭和五十年九月三十日

一 会 議

○理事会

(1) 第一回理事会(改選後) (七月二十一日)

- (i) 会長・副会長・常務理事互選の件
- (ii) 特別委員会委員(財務・クラブ・育英) 選任の件
- (iii) 中国支部(所在地・広島市) 設置の件

○評議員会

(1) 評議員会(七月一日)

- (i) 理事・監事選任の件
- (ii) 中国支部(所在地・広島市) 設置の件

○特別委員会

- (1) 育英奨学委員会(六月十六日)
- (i) 昭和五十年度育英奨学生選定の件
- (ii) 昭和五十年度学術研究助成金受贈者選考の件
- (2) 財務委員会(六月十九日)
- (i) 昭和四十九年度財務報告
- (ii) 資産運用の件

○同窓会

(1) 小学校役員会(六月九日)

- (2) 工学部役員会 (七月十八日)
 (3) 文学部役員会 (九月六日)
 (4) 高校役員会 (九月二十五日)
 (5) 経済学部同窓会 (九月二十九日)

○支部会

- (1) 千葉支部会 (七月四日)

二 人事

○会長・副会長・常務理事 (七月二十一日・理事会)

会長 河野義克 (旧高6)

副会長 若林卓弥 (実務4)

丹治道生 (旧高4)

福井純一 (政経1)

常務理事 谷岡喜久蔵 (旧高11)

(任期 昭和50年7月1日～52年6月30日)

○理事・監事 (七月一日・評議員会)

○評議員 (五月二十八日・会員総会)

○印 理事・評議員 (兼任) 二十八名

△印 監事・評議員 (兼任) 三名

無印 評議員 (総数) 八十七名

相川 泰吉 (旧中13) 相部 幸一 (高校1)

青葉 翰 於 (実務8) 赤星 平馬 (旧中8)

朝川 澄夫 (小学5) 朝倉 孝吉 (旧高16)

荒木 昌保 (政経1) 井本 農一 (旧高6)

伊集院 董 (旧高12) 伊東 明 (専門3)

伊 臣 真子 (女12) 碓 本 勘二 (高校8)

池 田 孝夫 (高校10) ○石郷岡 猛 (工1)

石 崎 誠一 (高校6) ○今 村 知雄 (旧高10)

○岩 崎 寛弥 (旧高23) 蛭 沢 秀孝 (工1)

小 倉 暁 (経1) ○緒 方 重雄 (経1)

太 田 邦雄 (高校16) 太 田 浪三 (小学17)

△岡 田 貞資 (専門4) 加 藤 英夫 (旧中2)

○梶 谷 玄 (高校4) 北 畠 裕子 (女22)

久 我 太 郎 (旧高16) ○栗 原 美能留 (旧中4)

桑 田 桂子 (文1) 小 俣 洋子 (文4)

○児 玉 与 史 (文1) ○小 布 施 志郎 (小学10)

○後 藤 精一 (専門2) ○河 野 義克 (旧高6)

佐 藤 信一 (政経2) 佐 藤 貴 (法1)

卒 代 靖 (実務6) 斎 藤 富彦 (工1)

酒 井 四 平 (政経2) ○柴 山 豊 (医2)

島 田 喜久子 (女17) 嶋 田 正哉 (法1)

霜 礼次郎 (医8) △生 野 専吉 (旧高6)

鈴 木 秀夫 (政経3) 園 田 信行 (政経4)

田 中 栄一郎 (小学13) 高 尾 三 郎 (旧中5)

高 田 亨 (実務11) 高 橋 弦志 (政経5)

高 橋 元雄 (実務8) ○高 山 英華 (旧高4)

○武 部 真佐子 (女8) ○谷 岡 喜久蔵 (旧高11)

○丹 治 誠 (高校3) ○丹 治 道生 (旧高4)

○戸 塚 新 (政経1) 中 村 光一 (経1)

(2) 成蹊クラブ委員会

荒 木 昌保 (政経1)

斎 藤 敏夫 (政経2)

渋谷 栄一 (旧高24)

滝 谷 秀彦 (政経9)

森 新太郎 (旧高1)

(3) 育英奨学委員会

栗 阪 原 景昭 (旧高20)

井 本 農一 (旧高6)

岩 崎 英二郎 (旧高15)

兼 子 仁 (高校4)

中 川 敏 統 (工1)

(任期 昭和50年7月21日～52年7月20日)

三 支部設置

中国支部 (七月二十一日・理事会)

所在地 広島市

地域 岡山・広島・山口・鳥取・島根の各県

四 事業

○昭和五十年度育英奨学生 (六月十六日・育英奨学委員会)

(1) 新親採用者 (十四名)

大学院学生 二名 経済学部学生 二名

工学部学生 三名 文学部学生 三名

法学部学生 四名

- 中 屋 健一 (旧高3) ○永 井 邦夫 (旧高8)
 南 部 鎮雄 (旧高1) 丹 羽 孝三 (専門3)
 馬 場 一 郎 (旧高7) 畑 田 正樹 (法1)
 浜 中 昭 (経1) ○浜 中 泰男 (法1)
 広 瀬 行 夫 (高校2) ○福 井 純一 (政経1)
 福 与 芳子 (文3) 藤 江 佐世子 (文5)
 前 沢 三 郎 (工1) ○松 井 靖夫 (工1)
 松 本 秀次郎 (専別2) 松 本 良 祐 (旧高8)
 宮 田 隆 (政経1) ○宗 像 英二 (旧高1)
 ○村 上 藤 太 (旧中5) ○村 上 正夫 (小学4)
 △森 新太郎 (旧高1) ○安 田 敬一 (政経2)
 ○山 本 良 介 (高校4) 山 本 龍二 (医2)
 湯 川 佳 宣 (医4) ○若 林 卓 弥 (実務4)
 渡 辺 一 美 (専門5) 渡 辺 次 郎 (高校5)
 渡 辺 佳 英 (旧高8)
- (理事・監事の任期 昭和50年7月1日～52年6月30日)
 (評議員の任期 昭和50年5月28日～52年5月27日)
 ○特利委員会委員 (七月二十一日・理事会)
- (1) 財務委員会
- 岡 田 貞 資 (専門4) 佐 藤 信 一 (政経2)
 生 野 専 吉 (旧高6) 田 山 正 男 (旧高1)
 高 橋 靖 (政経6) 内 藤 薫 (旧高12)
 平 塚 保 明 (旧高1) 藤 田 謙 次 (旧中3)
 村 上 正 夫 (旧高1) 森 本 隆 (旧高16)

(2) 継続者(四十七名)

大学院学生 二名 経済学部学生 七名
工学部学生 三名 文学部学生 二十名
法学部学生 十四名 高校生 一名

(3) 昭和五十年年度育英奨学金貸与総額

新規採用者 (十四名) 一、三九二、〇〇〇円

継続者 (四十七名) 三、四三三、〇〇〇円

合計 (六十一名) 四、八二四、〇〇〇円

(4) 育英奨学金貸与額

(イ) 新規採用者

大学院学生 月額 一〇、〇〇〇円

学部学生 " 八、〇〇〇円

(ロ) 継続者

大学院学生 月額 八、〇〇〇円

学部学生 " 六、〇〇〇円

高校生 " 六、〇〇〇円

○第二回成蹊会学術研究助成金(六月十六日・育英奨学委員会)

三拾万円贈呈(29頁参照)

○成蹊小学校卒業生名簿(七月一日)

三、三〇〇冊発行(一三二頁)

○成蹊会誌第四十一号(七月十日)

一五、〇〇〇冊発行(六十八頁)

○全国高校総合体育大会後援金(七月二十二日)

四五、〇〇〇円(出場高校生 九名へ贈呈)

御寄付金(昭和五十年六月一日
昭和五十年十月二十日)

一 育英奨学基金

一〇〇万円 大日精化工業(株)

一〇〇万円 富士スレート(株)

一〇万円 北川重彦(高6)

合計 一一一万円

累計 一、六六二万四千五百円

個人 三二〇名・八五一万四千五百円

法人 十九名・八一〇万円

二 成蹊小学校六十周年記念寄付金

四二七万五千円(詳細30頁参照)

一八六名

三 一般寄付金

五〇万円 匿名(本人希望)

成蹊大学文学部十年史

成蹊大学文学部十年史ご希望の方は、左記へお申し込み願います。文学部のご好意で会員の諸兄姉には二〇〇円(郵送料共・切手可)で頒布いたします。部数に制限がありますので代金をそえてお早目にお願いたします。その際、卒業学校・学部・卒業回数など明記して下さい。

〒180 武蔵野市吉祥寺北町三ノ三ノ一

成蹊大学文学部事務室文学部十年史あて

会費芳名録(敬称略)

自 昭和五十年六月一日

至 昭和五十年九月三十日

一 終身会費払込完了者

青山 和之(政経18) 青山 孝郎(高5)
赤城 和彦(高25) 朝川 澄夫(小5)
新井 亮一(医12) 有賀 靖彦(政経10)
伊吹 雄(高2) 猪谷 愛子(高11)
池上 茂(医4) 池田 和夫(医8)
岩橋 正明(政経16) 大江 新(高12)
大脇佐紀子(政経4) 太田 クミ(文1)
岡本 昭一(工3) 加藤 公一(工1)
加藤 聡子(文1) 金井 京子(女29)
金谷 充招(医7) 川村 紘一(政経15)
小中 信幸(旧高24) 肥沼 裕子(文1)
黄司 富彦(小39) 金光威和雄(高4)
佐藤 省一(医8) 斎藤 幸治(政経17)
宍戸弥栄子(高8) 渋谷 攻(工4)
島田喜久子(女23) 鈴木 和徳(医5)
鈴木千加子(文1) 田代 裕(工4)
田中 譲(医13) 高橋 国興(工3)

二 年額会費払込完了者

(昭和五十年年度・昭和五十一年分)

高野 元英(医9) 武田久美子(文1)
鶴崎 隆一(医8) 中村 恵是(政経4)
南郷 茂隆(高11) 沼尻 義行(文1)
野崎 俊彦(工4) 春名とみ子(文1)
原 正志(高15) 樋口 雅宏(工4)
久富 雄(医3) 古瀬 萌(医3)
星野 民雄(工4) 堀田 明(高11)
堀 洋二(医4) 松崎 芳孝(工4)
松村 貞浩(工3) 松本佐和子(小23)
丸川 教之(文1) 丸山 昌子(文1)
守屋以智雄(高7) 森 寿満子(文1)
山崎 勝美(工4) 山崎 望人(工4)
湯浅 光陽(高5) 吉松 博(高5)
以上 六〇名
浦中 妙子(医6) 江尻 貞明(小40)
榎本 恒雄(医4) 雄倉 保行(旧高13)
及川 昭(旧高21) 大熊 剛(小49)
大塚 嘉子(女26) 大槻 治明(小48)
大野 春蔵(実3) 太田 芳郎(旧高22)
岡本惣一郎(政経8) 書上 慎(旧高6)
梶原 景浩(中3) 門脇 重宏(高9)
菅野 勤(旧高18) 木内 淑子(小3)
貴谷 瑛子(小23) 吉良 尚矩(高14)
小池 保郎(政経16) 小島 伸介(医10)
小林 延年(医4) 古賀 文三(政経8)
佐伯 祐宏(小49) 斎藤千恵子(女27)
真田 知彰(医2) 沢田 武(旧高18)
柴田 勝之(高1) 島野 元晴(政経17)
島村健次郎(小38) 霜山 徳爾(旧高13)
諏訪 勲雄(専2) 関谷 政雄(医4)
田代 博嗣(高16) 多賀 三朗(工1)
多胡 潔(高2) 高橋 善七(旧高4)
竹内 端美(政経1) 土井 厚(旧高13)
富田 重時(専4) 内藤 貴(法1)
中川 毅(中6) 中川 達夫(旧高2)
中村佐和子(高14) 永井 博治(旧高5)
永瀬昌三郎(高2) 檜林ひろみ(文1)
林 光一(小45) 原野 律郎(旧高19)